

「乳幼児手形アート作品の制作が母親の情緒に及ぼす影響」調査に参加されたお母さまへ
広島大学大学院では以下の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、この情報等を研究目的に利用することに関してご不明な点がある場合は、2022年9月15日までに、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	乳幼児手形アート作品の制作が母親の情緒に及ぼす影響
研究責任者名	医系科学研究科地域保健看護開発学 職名 教授 氏名 中谷 久恵
研究期間	2020年3月6日(倫理委員会承認後)～2023年3月31日
対象者	広島県内の商業施設で行う株式会社 petapeta 主催の手形アート作品の制作体験会に参加した方で、その際、本研究について説明を受け、既にアンケートに回答いただいた乳幼児のお母さま。
意義・目的	<p>乳幼児手形アートは、お子さまの手形や足形を作品の一部として、動物や植物、季節のイベントにまつわる作品に、お母さまの思いを込めながら仕上げていくアート作品です。この作品は、お子さまとのスキンシップを通じた触れ合いの交流でもあることから、作品を作る制作段階や完成後の鑑賞段階においても、絵画等の表現とは違った情緒的な影響を及ぼすことが考えられます。そこで、本研究では、この手形アートの制作によってお母さまがどのような情緒的影響を受けておられるかを明らかにすることを目的とした調査を計画しております。</p>
方法	<p>本研究は、制作体験に参加していただいた際にご記載いただいたアンケート情報を解析し、調査します。この度、共同研究機関として、鳥取大学が追加されました。</p> <p>解析は広島大学のほかに鳥取大学でも行います。匿名のアンケートですので個人を特定可能な情報は解析に用いません。</p>
共同研究機関	<p>鳥取大学医学部保健学科 吉岡 伸一</p> <p>広島大学に情報を集め、広島大学(研究責任者 中谷 久恵)と鳥取大学(研究責任者 吉岡 伸一)が解析します。</p>
試料・情報の管理責任者	広島大学 教授 中谷 久恵
試料・情報の他機関への提供および提供方法	鳥取大学へ提供します。匿名のアンケートですので個人を特定可能な情報は提供しません。
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3</p> <p>T e l : 082-257-5397 (直通)</p> <p>広島大学医系科学研究科地域保健看護開発学 職名 助教 藤田 麻理子</p>